

BAP 認証を選ぶ理由。



BAP (Best Aquaculture Practices) 認証は、養殖水産物のふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場を対象とし、その全ての段階において環境や社会への責任、養殖される魚介類の健康、食品安全を保証する認証制度です。

「3つのベンチマーク承認」による信頼性

GSSI

世界水産物持続可能性
イニシアチブ

GFSI

世界食品安全イニシアチブ

SSCI

持続的なサプライチェーン
イニシアチブ

また、2025年4月時点でSSCI(持続的なサプライチェーンイニシアチブ)へ申請中。

BAP 認証の基準は、
4つの柱により
構成されています。

- 1 環境への責任 ▶ 生息地の保全、水質、排水などの問題に対応
- 2 養殖される魚介類の健康と福祉 ▶ 疾病管理などの問題に対応
- 3 食品安全 ▶ 禁止されている抗生物質やその他化学物質を不使用
- 4 社会への責任 ▶ 生産者や従業員の人権と安全が守られた労働環境の整備と運営の徹底

ロゴ使用料が不要

小売・量販店や外食の最終店舗(バックヤード、キッチン)での加工であれば、**CoC 認証は不要!**
BAP 認証ロゴを使用するにはロゴガイドラインに沿った使用のみ必要で、**ロゴの使用料は一切無し!**

BAP 認証の基準は
養殖のサプライチェーンを網羅して、
以下の施設に設けられております。



 BAP 認証はアメリカのウォルマートを中心に世界で **250社以上** の
エンドーサー企業に積極的に購買、支援いただいております。

3810 施設

BAP認証を取得している
施設の世界合計



241 万トン

養殖場レベルでの生産量



539

加工工場と再加工工場



2780 施設

養殖場



153 施設

飼料工場



338 施設

ふ化場



30 万人

BAP認証施設での
従業員合計

45 力国

認証取得国数

39 魚種

認証取得魚種数



※2025年4月時点での数字

BAP 認証については <https://info.globalseafood.org/ja-jp/bap> へ

2025年4月作成

BAP 認証についての問い合わせ先

グローバルシーフードアライアンス 日本マーケット担当

芝井 幸太

 kota.shibai@globalseafood.org